

Non Styrene Spray Putty

ノンスチレンスプレーパテ

Non Styrene
Spray Putty

ノンスチレンスプレーパテ

Isamu

Isamu

塗料
塗物 (可燃性固体類)
3kg

ノンスチレンスプレーパテの特長

- 結晶質シリカ規制対象除外品
(2023年4月改定 労働安全衛生法に対応)
- 特化則対応・有機則フリー※
(※厚付け希釈剤は第2種有機溶剤)
- PRTR法届出対象外
- REACH規制対応
- RoHS指令対応
- 希釈しない場合はヘラ付け可能

優れた作業性

1. 2種類の希釈剤で即加熱または厚付けが可能
2. スプレー型のため、広範囲のひずみ抜きが容易
3. キメが細かく、巣穴がでない
4. 平滑に仕上がるため、研磨が容易

ラインナップ

主 剤	厚付け希釈剤	即加熱希釈剤
		
容量／3kg	容量／0.9L	容量／400ml

■ 注意事項

- 主剤100に対して、ペーストを2～3%の割合で加え、よく混合してから希釈剤を5～15%の割合で加え、よく攪拌してください。
ペーストと同時に希釈剤を加えますと、ペーストが完全に混ざりきらない場合があります。
- ご使用前には缶内の主剤を均一になるまでよく攪拌してください。
- 主剤およびペーストの有効期限は20℃で6カ月です。必ず有効期限内にご使用ください。
- ご使用後は容器のフタをしっかりと閉めてください。

- 塗装は口径2mm以上のスプレーガンを使用してください。
- スプレー1回での膜厚は約100～200μmです。
- 限界膜厚はそれぞれの希釈剤記載の注意事項に従ってください。
- ブース内で塗装してください。
- 調合したパテは発熱しますので、余ったパテは広い面積に塗り広げて硬化させてください。
- 作業中は適切な保護具を着用してください。

使用にあたってのご注意

A. 作業上の注意

1. 塗料、ミストを皮膚や粘膜に付着させない
 - 作業着、手袋、帽子などで皮膚などに直接付着しないように保護してください。
 - 保護メガネを必ずかけてください。眼に飛沫が入った時は、すぐに大量の水で洗い流してただちに専門医の処置を受けてください。
2. 皮膚に触れた場合の炎症
 - 塗料、ミストが直接皮膚に触れると、赤くはれるなどの炎症を起こす場合があります。

3. 一度中毒症状になると再発しやすい

- 一度中毒症状を起こしたりすると、過激になり再発しやすい傾向にあるので注意してください。
- 気管支炎になりやすいなど、呼吸器系が敏感な人や、既往症のある人、皮膚カブレの出やすい人、アレルギー質の人は、作業に従事しないでください。

B. 取り扱いに際して

- 硬化剤：燃えやすいペースト状固体で、有機溶剤中毒の恐れがありますので、使用時間以外は必ずフタを閉めてください。

※ご使用については、必ず別途塗装仕様書やSDS等をご確認ください。

※2025年5月時点の情報です。カタログに記載の内容は、予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。

使用方法



100 : **2～3** : **5～15%**
主剤 パステル 希釈剤
 ペーストPlus各種 調合後の塗料に対して



可使時間・研磨可能時間

ペースト	希釈剤	温度	ペースト量	可使時間	研磨可能時間
パステルペースト Plus (エロー/ブラウン)	即加熱 希釈剤 (5～15% 希釈)	10℃	3%	50～60分	8時間
		20℃	2%	30分	5時間
			3%	15分	4時間
		30℃	2%	15分	2.5時間
	厚付け 希釈剤 (5～15% 希釈)	60℃	2～3%	—	20分
		10℃	3%	50～80分	4時間
		20℃	2%	30～50分	2時間
			3%	15～30分	1.5時間
		30℃	2%	15～30分	1.5時間
		60℃	2～3%	—	(塗装後、15分静置)20分

※加熱乾燥は60℃以下にしてください。

作業工程

作業工程	① 下地処理	P60～P120ペーパーで足付け研磨後、ワックスオフで脱脂
	② プライマー塗装	亜鉛プライマー 2:1 ※
	③ 乾燥	60℃×5分または20℃×20分
	④ スプレーパテ塗装	2～5回塗装
	⑤ 乾燥	上記、研磨可能時間を参照
	⑥ 研磨	P180～P320ペーパーでパテ研磨
	⑦ プラサフ塗装	各種プラサフ塗装工程に準ずる
	⑧ 上塗り塗装	各種ベースコート/クリアーコート 塗装仕様に準ずる

※輸入車及び亜鉛目付量の多い国産車や、亜鉛メッキ層剥離部の防錆のためなど、必要に応じて塗装してください。

※詳細については塗装仕様書をご覧ください。

